

普及現地情報

発信年月日：令和2年（2020年）5月19日
所属名：湖北農産普及課
番号：G20002
部門分類：120（麦）
発信者名：長瀬、作物担当

大麦の適期収穫にむけ情報を発行しました

近年、栽培面積の拡大している大麦が適期に収穫できるように、5月13日と14日に大麦の子実水分を42ヶ所でサンプリング調査しました。調査結果をもとに、5月22日に生産者向けに情報を提供しました。

湖北管内では近年、大麦「ファイバースノウ」のほ場面積が麦類全体の約1300haのうち約70%を占めるほど拡大しており、管内JAと連携しながら、品質や収量向上のための支援を行っています。大麦の収穫適期は子実水分25%以下であり、適期収穫をすることが高品質な大麦の生産に繋がります。しかし、刈り遅れると品質低下のリスクが高まります。そこで、各地域のほ場から穂をサンプリングし、子実水分を測定することで、収穫適期水分になる時期の予想を行い、情報提供しました。

今後は、小麦についても同様に調査を実施し、情報発信する予定です。



麦作情報（大麦） 只2年度 No.8

令和2年5月22日
湖北農産普及課農産部 農産普及課
(湖北農産普及指導センター)

「ファイバースノウ」の収穫適期[※]は
5月28日頃からと予想！

※収穫適期水分(子実水分が約25%)になる時期

本年産の特徴と適期収穫
○出穂期は昨年より早まりましたが、4月の気温が低くなったため、開花までの日数が長くなりました。この結果、収穫適期は昨年同様と予想されます。
○5月に入って気温は高いですが、日照時間が少ないため、登熟はゆっくり進んでいます。
○収穫適期はほ場条件や今後の天候により変動します。上記の予想を参考に、適期に収穫しましょう。

近畿地方 1か月予報

近畿地方1か月予報(令和2年5月16日～4月18日まで)の天候見直し(大規模気象会)5月14日発表
天候は各地の気候と変わります。
前より1か月先の平均気温は、高い場所が10%です。
通常の気候は、1週目(5月16日～5月22日)は、高い場所が0%です。3～4週目(5月30日～6月12日)は、平均気温は高い場所ともに40%です。

○収穫作業のポイント

1. 大麦の収穫適期は子実水分25%以下！

麦に穂がのびやすい時期(夕方・夜間)は、穀粒の水分が蒸く上るため、収穫作業は避けてください。子実水分が25%以下になってから収穫しましょう。

「子実水分が高い畑のリスク」

- ・コンバインの回転数が落ちると、粒により粒が割れ、品質が低下します。作業中の作業の遅延も、その被害が拡大する可能性があります。
- ・乾燥機設備のホッパーが詰まり、処理能力の低下や燃費の増加になります。
- ・穂が作物の穂がまみれになり、死傷や被害、火災のリスクがあります。

2. 麦がびれが押し込まない！

麦がびれが押し込まない場合は、穀粒に傷や虫食いを防ぐために、

3. 収穫機は速やかに収穫機へ！

湿度の高い畑での収穫のため、火による発熱低下や火災の危険性を防ぐ必要があります。

4. 刈遅れに注意！

刈り遅れると、穂がびれや穂の腐敗、麦がびれの発生等で品質低下のリスクが高まります。

5. 必要に応じて刈遅れの判断を！

以下のような場合は、刈り遅れが必要です。

- ・穂がびれ(麦)の発生、麦がびれが押し込まれる恐れがある。
- ・麦がびれの発生が多い。
- ・穂がびれが押し込まれる。
- ・穂がびれが押し込まれる(カラスノエンドウ、イタリアンライグラス等)。

○収穫に向けて今一度、排水対策の徹底を…！

登熟期の遅延は収穫遅れだけでなく、品質を大きく低下させるので、排水溝を今一度点検し、速やかに排水するよう、農家さんにもご留意ください。

(左上・左下)大麦の調査の様子

(中央・右)発信した麦作情報